

# 一宮保育所新築、

## 今後こども園か

新風会 岡田康弘

**質問**↓子ども・子育て審議会の議論の状況、今後の予定は。公立幼稚園は園児数が激減しているが、国の施策に沿って認定こども園に移行する方針なのか。一宮保育所を移転・新築して今後、認定こども園にするのか。

**答弁**↓審議会は平成26年度末までに策定する「子ども・子育て支援事業計画」の内容を審議するため7月に立ち上げ、支援施策の利用希望に関するニーズ調査を10月に実施した。現在、集計と分析の作業に入っており、本年度中に地域子ども・子育て支援事業の必要な見込み量を確定し、状況を踏まえた真に実効性のある計画としたい。保育所の待機児童がないことや少子化などの状況を鑑みれば、公立幼稚園は再編が優先されるべきで、個々に認定こども園に移行して保育所機能を持つことは現時点で想定できない。一宮保育所はあくまで



今の保育所の移転新築を予定。将来的な公立・私立、幼稚園・保育園と全市的な検討の中心で整理する課題と考える。

# 総合食品卸市場・介護老人福祉施設

野村昌平



**質問**↓①津山総合食品卸市場の結末は。市としての見通し及び対応は。②介護老人福祉施設の入所待機者の実態と改善策は。

**答弁**↓①多額の市税滞納があり、税の公平性からも速やかな対処が必要であった。しかし市場機能を停止させることは関係者や市民生活に影響があるため、異例の「裁判所による事業継続の許可」を5回にわたり延長し、12月末までは許可されている。再延長されない場合は裁判所より通知があるため、年内廃止はないと考えている。水産部門は産業・流通センターに新たに開設されるが、多くの卸売関係者は現在地での事業継続を希望しているため、現市場の土地整理を調整中。市場開設や事業継続は事業者の意向を尊重し、公益性を有する市場であるため、今後も関係機関と連携し本市としても可能な支援を行いたい。

②平成25年8月現在、要介護3以上の入所待機者は約130名、現在2施設の介護老人福祉施設が整備中で平成26年度中に120床が開所予定。

# 食育等、栄養職員の負担増。

## 市独自の配置に努める！

市民と歩む会 黒見節子

**質問**↓城東で車と住民と観光客の安全、空き地の活用、苧田酒造の保存作業の予定は。城西の今後は。

**答弁**↓城東は交通量が多く、住民との協議が必要。空き地は便益施設整備や店舗の土地利用が考えられる。苧田家住宅及び酒造所は来年度中に調査報告書を作成、国指定申請を行う。城西も基礎調査・詳細物件調査を行い、最終は重伝建を目指したい。

**質問**↓市の審議会へ女性委員の参画の状況と促進の困難点は。

**答弁**↓活力ある社会構築のために女性参画は必要。目標を機関会議で周知し推進。困難点は、専門性を必要とする委員や当てる職に男性が多い。

**質問**↓学校給食センターの現状は。

**答弁**↓戸島のセンターでは食物アレルギー対応専用調理室を新設。草加部の新センターは津山市全体の炊飯ラインを整備。県費栄養職員は定数4名



なので市独自の配置に努めたい。東中・西中・北陵中のエレベーター使用は各学校の運営の中で協議していく。

◎ 政治家が選挙区内にある者に対して、寄付をすることはいかなる名義でも禁止されています。